

よろこび

2026.6.20 第149号 年金局・「隠退教師を支える運動」通信

主に導かれて

長澤仁司／長澤親子

皆様の尊い献金によって私たちの生活が支えられ心豊かにされていることを感謝いたします。

私たちは1964年春、日本聖書神学校を卒業して結婚。

最初の任地は、山梨分區教師会の招聘による市川教会。隣町の巨摩教会を兼牧。両教会の再建が期待されていたこと。

家具一つなく無一文、ただ十字架と復活の主が同行される喜びに溢れての出発であった。

両教会共、7、8名の信徒の方々との礼拝が始まる。休むことなく続ける新米の懸命な説教に真剣に毎週傾聴し続けて下さる私たちのうちに、共通の理解が生まれてくる。主日礼拝の真の主は私たちでは

ない、聖霊ご自身が私たちを動かし招き、共同体を建て、こうしてはいられぬと、この世に派遣してくださるという事。こうしたことを通して育てられていった。



長澤親子先生

長澤仁司先生

十数年を経て、教会は若者を含めて数を増し、牧師の家族を支え、分區の開拓伝道にも積極的に参加する教会に成長していく。その頃、巨摩教

会も新たに主任牧師を迎え、今では立派な教会堂を建て宣教の業をなしている。

1982年、70年代の荒れた時代の中で礼拝粉碎された駒澤教会から、「説教によって教会を建ててほしい」との要請と神学校が校舎を建築したので協力してほしいとの要請があった。

さらに1992年には、田園調布教会から2年間牧師が決まらず、創立期に牧師を支えて来た信徒が高齢となり40数名の方々が存宅して牧会が受けられないので、就任してほしいとの要請が再三にわたって続いた頃、私と信徒との関係が親密で、私にとって教会は「わたしの教会」となっていた。

この私の思い上がりの主は赦して下さり、「わたしの羊を養いなさい」と私に命じられた原点を示されるために、頑固な私を憐み、待ち伏せし、「キ

リストの教会」となるために道を示して下さった。私は主に従い、両教会で存分に用いて頂いた。

かくして、私たちは2000年、その働きを終える時を迎えた。

隠退してすぐ、息子家族の住む隣りの築15年の中古マンションの一室を購入。「終の棲み家」とした。がしかし、私たちの身体は限界に達していた。妻の心臓の手術、私の大腸ガンの手術。幾つかの持病の発見、妻が身重な婦人の下敷きになり腰骨の骨折による長期入院、同じ頃、私はくも膜下出血で長い間自分が何者かもわからず入院、数年かけて記憶の回復、最近ようやく思考の継続が可能となった。

この数年ようやく安定してきたと思ったが、一昨年は妻の大腿骨々折、今年の1月に私も大腿骨々折で2ヶ月半の入院。良い機会なので購入し

たばかりの上田光正著『バルト神学への道しるべ』を熟読した。山梨分區教師会の読書会で出版したばかりの井上良雄訳『和解論』を取り上げ、その後出版されること、駒澤教会時代も田園調布教会時代も独り読み続けていた私の福音理解をチェック、大きな誤りがなかったことに安堵というより確信を得た。

リハビリ中に私が牧師であることが知れ渡り、70名の老人達が食事中、私のまわりに集まり、質問を告げるようになり、私は福音書を用いて思う存分に語った。退院まで続いた。私は主によって派遣されていることを自覚した。

95才と90才の私たちの人生が、新横浜教会の主にある友垣に囲まれて始まっている。

いずれにせよ、主が先導され同伴してくださることは間違いない。

(ながさわひとし／ながさわちかこ)



2026年度「隠退教師を支える運動」 推進委員会の組織について

「隠退教師を支える運動」推進委員会では、2026年度に当たって、推進委員2名の増員と、監事2名の交代がありました。

3月末で、大三島義孝監事と河村富雄監事が退任されました。共に8年の長きに亘り

監事を担っていただきました。感謝です。

後任の監事には丸山和則教師（教団幹事）が就任されました（もうお一人は未定）。今回は、新任の推進委員（推進員を兼務）のお二人のご挨拶を掲載いたします。

（推進委員会事務局）

●新たな決意●

推進委員 山角正子



山角正子さん

「推進委員に」とお声がけをいただいた時、驚き躊躇しました。

15年前に千葉に転居するまでは「隠退教師を支える運動」についてほとんど知りませんでした。新津田沼教会でこの献金の係を、東京教区・千葉支区で推進員をつとめさせていただく中で、運動の尊い歴史・大切さを知ることができました。私へのお声がけ。

祈り、牧師に相談し、推進委員として働かせていただくという思いに導かれました。

2010年に発行された『夕

べになっても光がある「隠退教師を支える運動」三十年の歩み』を読み返す度に、運動を発展させなければという思いに駆られます。冊子の「はじめに」に書かれている『隠退教師を支える運動』には終わりがありません。主の御器として立てられた教師が御言を語り続け、信徒が生み出される限り終わりはありません。主はその環境を整える責任を担うことを信徒にお命じになっ

ています。『が、心に深く刻まれています。』

この運動が全国に広がる様に、祈りつつ皆さまと歩んでいきたいと願います。

(やまずみまさこ／新津田沼教会)

●主にありて●

推進委員 福田栄一

私はこの10年位前まで「隠退教師を支える運動・100



福田栄一さん

円献金」がある事すら知らなかった者でした。それが神様の御計画の元にこのような大役を任される者となり、戸惑いと感謝が交錯しております。「あなた方の内に働いて、御心のままに望ませ、行わせておられるのは神である」(フィリピ2章13節)とありますが、この御言葉は、皆それぞれのだを与えて下さる神様を否定しない事の大切さ、志の重要性を教えて下さいました。

最近はこの教会・伝道所におきましても奉仕する信徒が減っています。信徒の高齢化、生活様式の複雑化等、色々な要因があると思います。

ただ、今は私達が神様に寄り添っているのではなく、神様が私達を捉えて下さっている事を心に留め、奉仕の業に励みたいと思います。

各教会・伝道所にこの運動の担当者置く事が出来れば、少しずつ前進し、献金の額が増えるのではないのでしょうか。これからも推進員、推進委員、教職、信徒が祈りを持って心を一つにして、運動の発展に努めて行きたいと思います。

(ふくだえいいち／狛江教会)



業 務 室 よ り

— 年金を受けている方へ —

年金給付のお知らせ

7月の定例給付のご案内をします。

送金内容 2026年度第1期分給付
(2026年4・5・6月分)

送金日 2026年7月10日(金)
期日に、ご指定の金融機関に入金されていない場合は、ご連絡ください。

次回送金 2026年10月9日(金)

連絡先・年金振込先の変更は、できる限り早めに、書状、Fax、e-mailの何れかで、年金局までお知らせください。

☆4月10日の定例給付には、教師退職年金、キリスト教教育主事退職年金、遺族年金合わせて、約1億300万円を686名の方々にお送りしました。

☆2025年度年金局事業・決算報告がまとまりました。以下概要を感謝をもってご報告いたします。

隠退教師、ご遺族年間平均703名に総額4億3千400万円の年金を支給しました。

一方、掛金収入は約3億500万円でした。その差額は、「謝恩日献金」3千800万円、「特別献金」700万円、「隠退教師を支える運動・100円献金」と各教区協力金5千300万円、資産運用益8千800万円で補われ、5千900万円が退職年金積立に繰り入れられました。

献金、協力金の詳細は、同封の「年金特集 No.83」をご覧ください。また、決算については秋発行の「年金特集 No. 84」に掲載いたします。

☆この春隠退され、教団年金受給者となられた教師の方は、現時点で22名、平均年齢は75.9歳です。主の労いと新しい生活が祝

福されますように。

☆「現況届」の提出がまだの方は、すぐに投函をお願いします。提出後の内容の変更や追加は、いつでも受け付けていますので、業務室までお知らせください。

☆「現況届」の通信欄より、年金局職員への労いの言葉と共に、受給者のご様子がつづられていますので紹介します。

「おかげさまで96歳になり、家族に支えられて、なんとか元気で感謝の日々を過ごしております。」「要支援になりまして、近くのデイサービス見学に行く予定です。娘や孫に世話になっています。スマホのラインが活躍しています。」「連れ合いの世話の傍ら、神学書を読み、充実した余生を与えられています。近刊書等も購読しますので年金は助かり感謝しております。」「1年支えられて本当に感謝です。独居老人の家ですが、近くのマンションの方々がみえて、かつての牧師館のように人の往来たえない家で感謝です。」「夫を天に送り、90歳を過ぎましたが教会の方々に支えられ信仰生活を主にゆだねつつ過ごしております。」「高齢になり年金の有難さを心から感じています。全国の牧師先生ご家族の上に主の祝福がありますように。」アーメン

☆出版局から異動した職員の引越しが完了し、3階事務局は少し賑やかです。同じフロアに新会社「株式会社アイ・パブリッシング」が仮事務所を構え、新しい歩みが始まっています。新しい環境での働きが神さまに守られ、支えられ、祝福されますように覚えてお祈りください。 本田由紀子

日本基督教団 年金局

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-31

Tel: 03(3202)2080 / Fax: 03(3202)2081

mail:nenkin@uccj.org

「隠退教師を支える運動」推進委員会

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-31

Tel: 03(3232)8005 / Fax: 03(3202)2081

mail:sasae100@uccj.org